

大仙市立大曲南中学校研究発表会

演題

「SDGs時代の学びを創る」

- ①大仙教育目標と大曲南中学校の研究主題
- ②世界の課題と日本の「学習指導要領」
- ③「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ
「ESD for SDGs」
- ④主体的・対話的で深い学びの実現
- ⑤授業の「改善」ではなく「改革」を進める

2024年11月22日(金)

ESD,SDGs推進研究室長 手島利夫

①大仙教育目標と大曲南中学校の研究主題

令和6年度（2024年度）

大仙市の学校教育

大仙市が目指す将来都市像

『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』

大仙教育目標

『生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり』

大仙教育目標

生きる力を育み、

社会を支える創造力あふれる人づくり

教育分野の基本方針(第2次大仙市総合計画より)

豊かな心と創造力を育むまちづくり

大仙市教育大綱(学校教育)

- 1 豊かな心と健康な体を育む学校づくり
○子どもの「心の居場所」が確保された環境づくり



- 2 主体的でグローバルな学びを進める学校づくり
○確かな学力による探究する子どもの育成

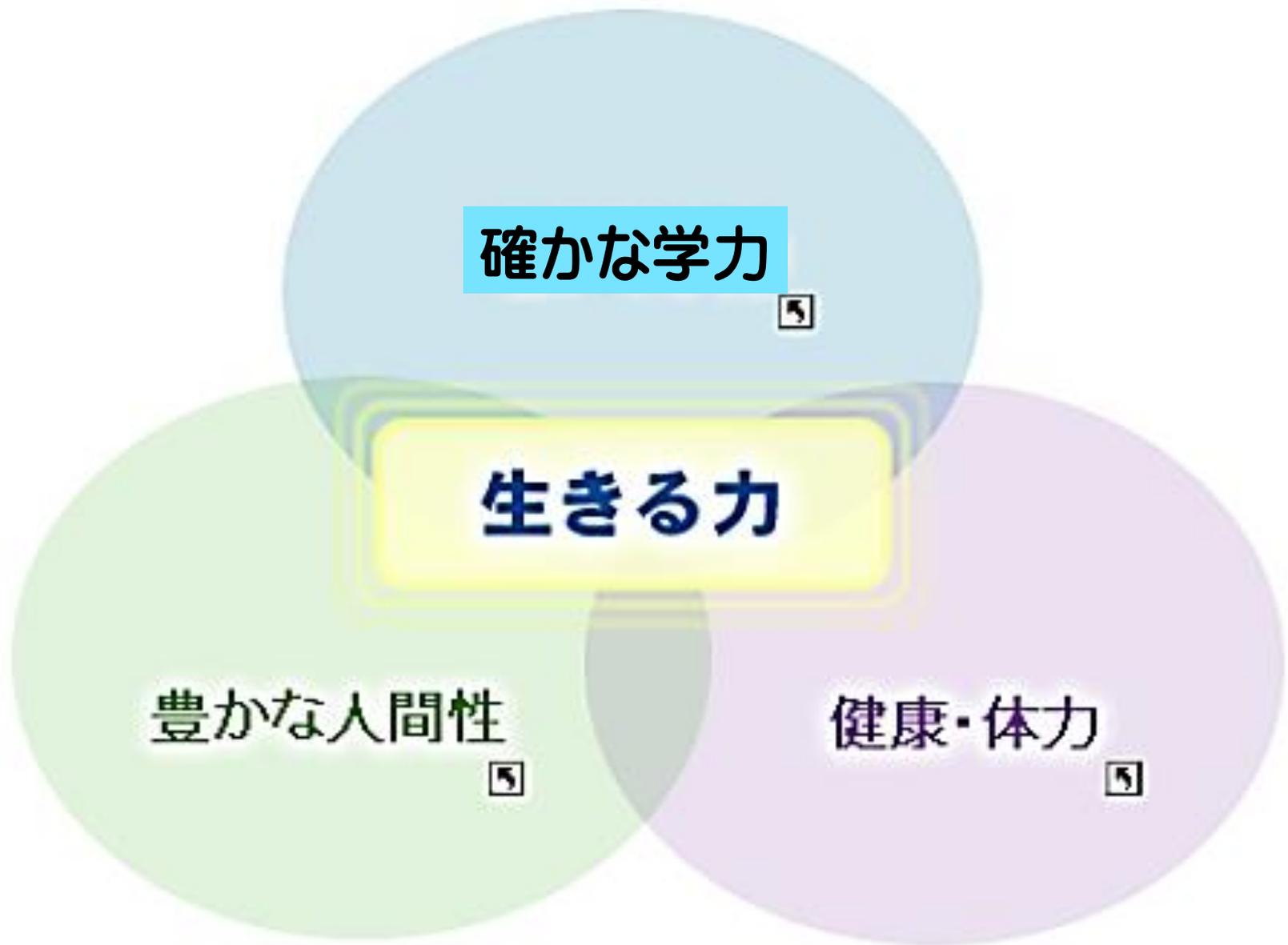


- 3 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくり
○地域に根ざしたキャリア教育の推進



 大仙市教育委員会

- 2 主体的でグローバルな学びを進める学校づくり
○確かな学力による探究する子どもの育成



文部科学省のホームページより

確かな学力

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/korekara.htm

確かな学力の中心概念は「基礎・基本」ですか？

確かな学力



知識・技能に加え、
学ぶ意欲や、
自分で課題を見付け、
自ら学び、主体的に
判断し、行動し、
よりよく問題を解決する
資質や能力など

思考力

判断力

表現力

課題発見能力

問題解決能力

学習力

知識・技能

社会規範

等

大仙市立大曲南中学校 研究主題

自ら「問い」を発し、多様な他者と協働した
「探究」を通じて、主体的に学び続けようとする生徒の育成

～探究型の授業の基本プロセスの質を高めた
授業改善による「主体的・対話的で深い学び」
の実現～

②世界の課題や日本の「学習指導要領」との関係



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国際連合 ユネスコの教育観

ESD for 2030

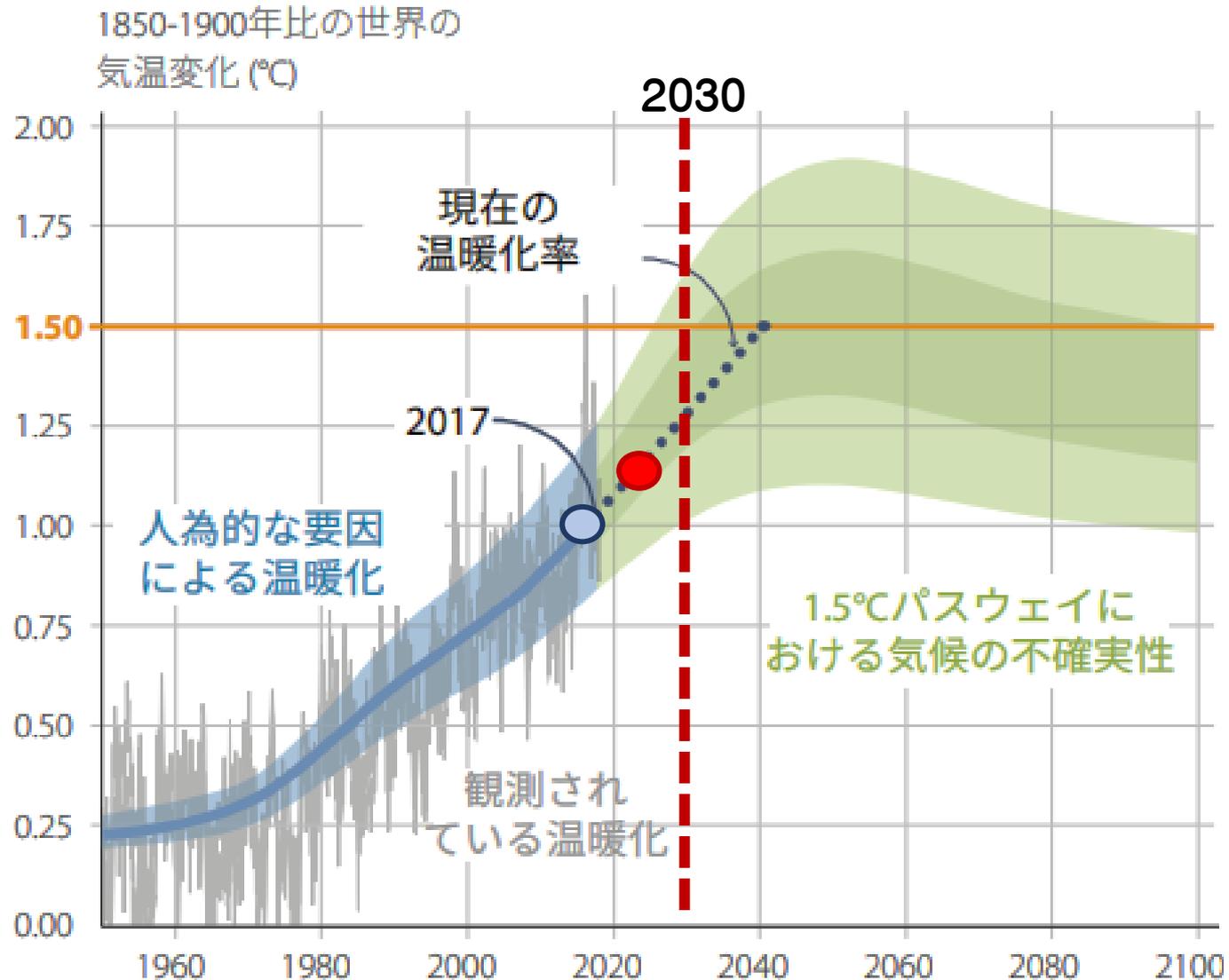
という視点をもって
学校教育・ESD
を進める



ESD for 2030 は、
持続可能な開発と
SDGsを教育・学習に取り
入れるとともに、教育・学
習を持続可能な開発と
SDGs を推進するすべての
活動に取り込むことを
保証するものです。

グラフ 1. 1.5°Cにどこまで迫れるか？

人為的な要因による温暖化は、2017年に産業革命前の水準より約1°C上昇した





‘我々は、人類
の生存を懸
けて闘っている。



しかし、これは勝
てる闘いである。’

- アントニオ・グテーレス国連事務総長

社会の变革:

持続可能な
世界の実現

教授法と学習環境:

主体的・対話的で
深い学び
探究的・問題解決型

学習の成果:

社会の变革に向けた
行動変容

学習内容:

全ての学びを
SDGsにつなげる

国連総会は、持続可能な開発のための教育(ESD)が、質の高い教育に関するSDGの不可欠な要素をなし、他のすべてのSDGsの実現の鍵であることを再確認する。

国連総会決議 72/222 (2017年)

学習指導要領

- ・時間数・英語
- ・プロク...
- ・GIGAスクール
- ・個別最適化？
- ・学力向上？

今回の改訂では、**前文**がつけました。

改訂の理念を特に強調するためのものです。

学習指導要領 **前文・・・理念**

総則・・・具体化の進め方

各教科・領域・・・改定の経緯・方針
学年ごとの目標・内容

学習指導要領（前文）

個人の成長

自分のよさや可能性を
認識する

とともに

豊かな人生を切り拓き、

社会人としての
役割

あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協議しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることが

できるようにすることが求められる

ESDの推進

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して

「生きる力」を育む

1. ?

(2) 学力向上のための
授業づくりを推進する

課題解決に必要な

・思考力
・判断力
・表現力 等

・学びに向かう力
・人間性

2. 豊かな心や創造性

3. 健康で安全な生活と

豊かなスポーツライフ

総則

教育課程の編成において

教育課程の実施において

総則

第2 教育課程の編成

知・徳・体 → 資質・能力の教育へ

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、
もに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、

知識・理解？

教師に言われたことをよく考える子…？
でいいの？

教育目標を明確にする

総合的な学習の時間の2の1に

第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、
総合的な学習を行うことを通して、
課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

教科等横断的

教科等横断的

点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。

● 第1 小学校教育の基本と教育課程の役割

1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、児童の人間として調和のとれた育成を目指し、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容、教科等横断的に立っていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校、教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

カリキュラム・マネジメント

教育課程の編成において

(総則 第1の4 第2の1.2.3.4)

総合的な学習の時間の目標と関連を図り

- ① 教育目標を見直す
- ② 教科横断的に学ぶ

教育課程の実施において

(総則 第1の2、第3の1)

1 主体的・対話的で深い学びの 実現に向けた授業改善

ら、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向か

(2) 第2の2の

主体的な学習過程を重視しなさい

語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童の言語活動を充実すること。あわせて、(7)に示すとおり読書活動を充実すること。

総則

教育課程の編成において

総合的な学習の時間の目標と関連を図り

- ① **学校の教育目標を見直すこと** (時代遅れ?)
- ② **教科横断的に学ぶ** (19ページの2)
(カリキュラム・マネジメント)

教育課程の実施において

- ③ **主体的・対話的で深い学び**
に向けた**授業改善** (22ページ1の(1)・・・つまり)

《探究的・問題解決的な学習過程》

③「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ 「ESD for SDGs」

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的
や目標の実現に必要な教育の内容を、教科等横断的に立立てていくこ
と、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実
施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと
などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校
向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努
めるものとする。

教育活動の質の

汎用的な能力を育む

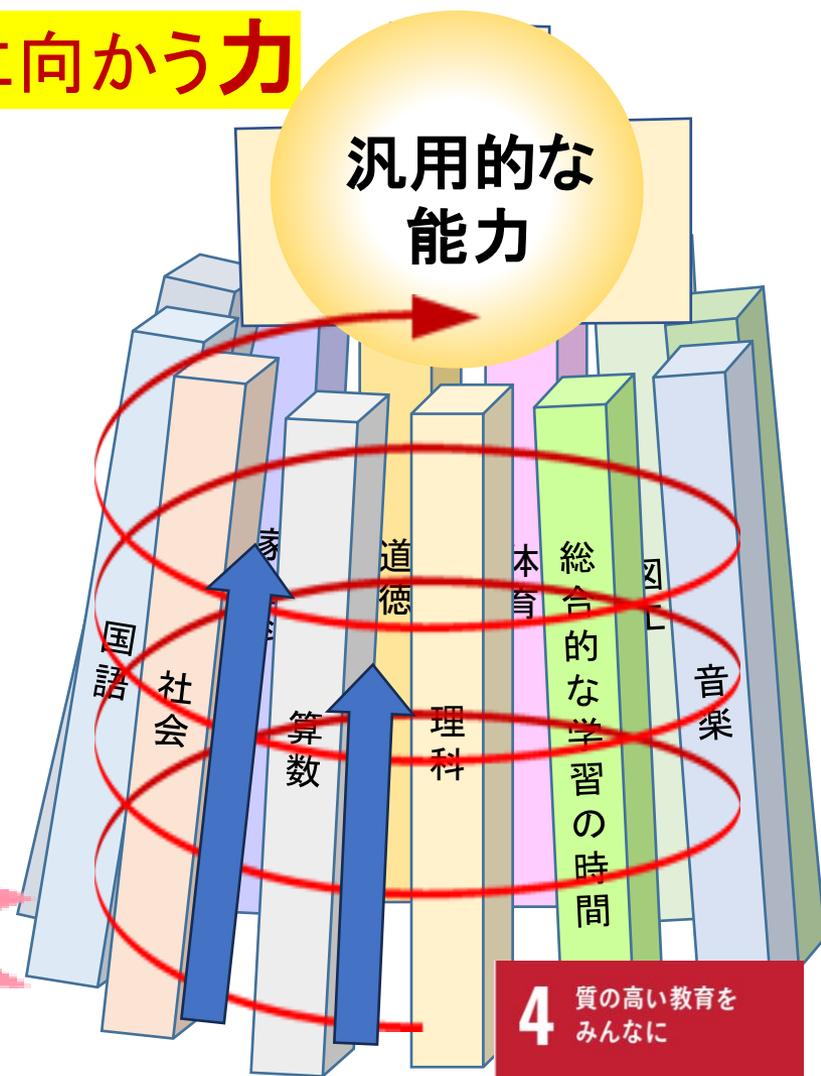
(思考力・判断力・表現力や**学びに向かう力**等を育む)・・・**問題解決能力**

カリキュラムマネジメント



教科を横断しながら
進む**ストーリー**

教育課程全体で捉える
視点が大切！



久喜市教育委員会作成の資料より

Education For All ⇒ Quality Education



第6学年 「未来にはばたけ」 ESDカレンダー

江東区立八名川小学校

教科領域	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
国語					未来がよりよ くあるために														
算数							⑤ これからの 日本について 考える												
理科																			
社会			② 戦争中 の生活や 人々の願い を知る		長く続いた戦争 と人々の暮らし		新しい日本、 平和な日本へ			⑧ 世界の現状 を見つめ自分の 生き方・学び方 について考える									
総合							未来に はばたけ！		世界が100人 の村だったら										
英語	<div style="background-color: yellow; padding: 10px;"> <h2>カリキュラム・マネジメント</h2> <p>従来の教科分断的な 発想から、教科横断 的な発想への飛躍が 必要！</p> </div>																		
特活																			
道徳																			
音楽																			
図工																			
体育																			
家庭																			

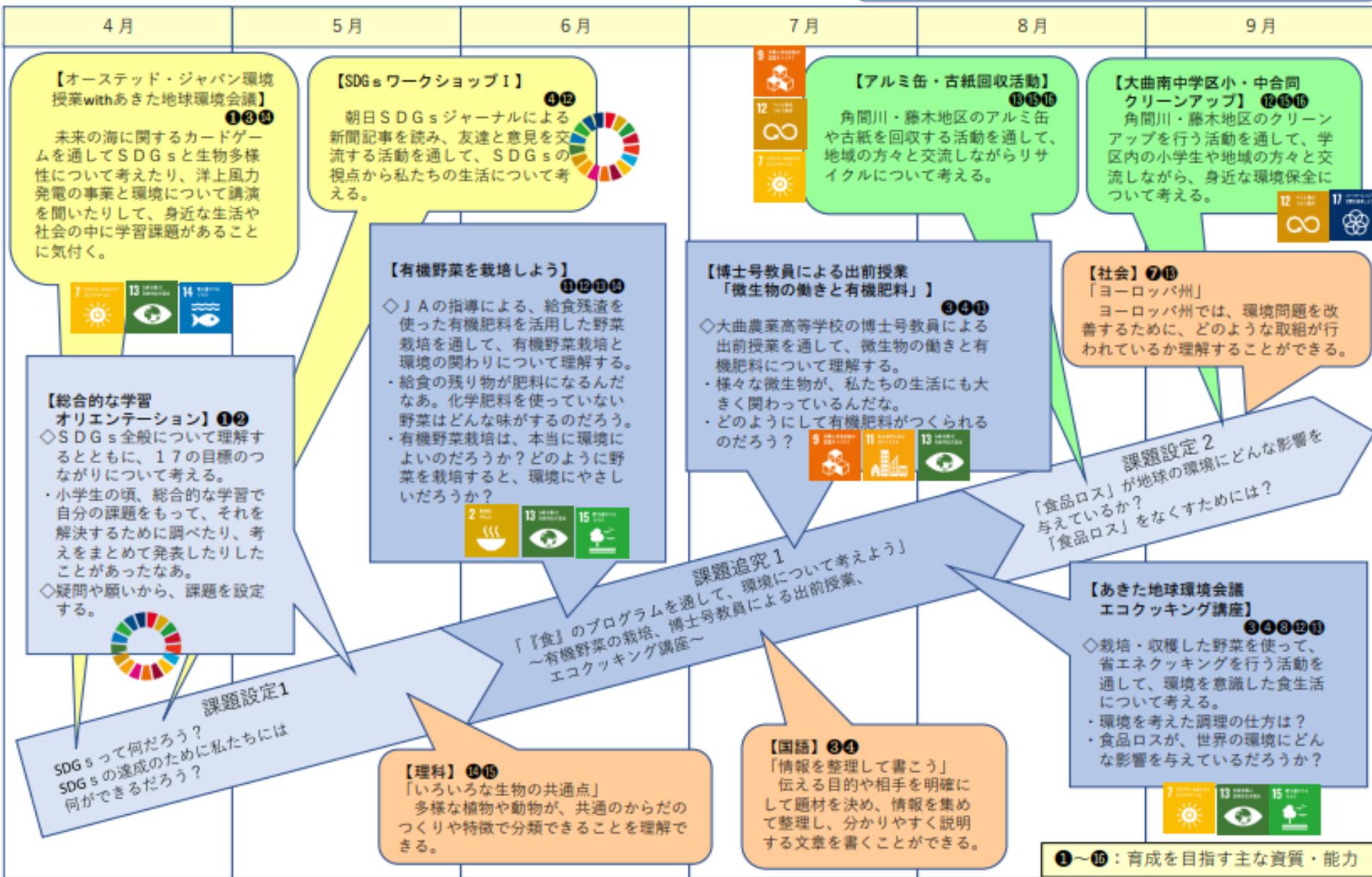


ストーリーマップ

秋田県大仙市立大曲南中学校

第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(1)

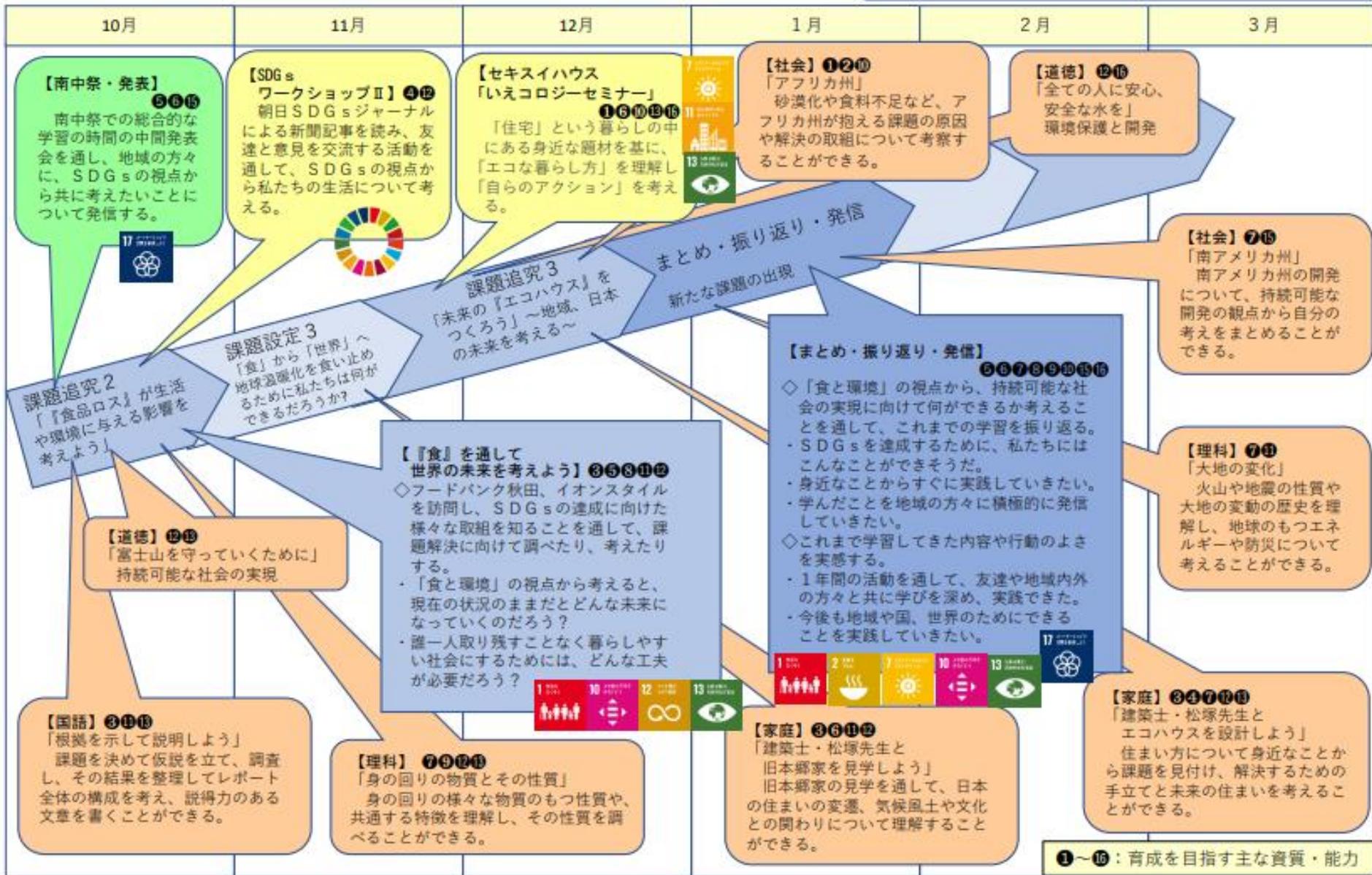
<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・



①～⑯：育成を目指す主な資質・能力

第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(2)

<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・



①～⑯：育成を目指す主な資質・能力

大仙市立大曲南中学校のストーリー

マップは、全国の様々な学校で参考に

され、広がりを見せています。

東京都小平市立小平第五小学校の

取り組みもその一例です。

6月

7月

8月

9月

10月

11

- ・夢の給食メニュー
- ・給食にはたくさんの工夫や努力が込められている
- ・自分たちも食べ残しで食品ロスに関わっている
- ・身の回りにどんな食品ロスがあるか予想し、実際に調べたい
- ・実際に調査し、まとめる

- ・地域の農家やスーパーにはどのような食品ロス問題があり、どのような工夫や対策をしているのか、見学を通して調べる
- ・家庭での食品ロスについて調べまとめる
- ・自分たちにできそうなことを考える

- ・段ボールコンポストの役割や可能性について知り、実際に作って使ってみる
- ・地域の農家やスーパーの取り組みの意味について話し合う

- ・段ボールコンポストで作ったたい肥の活用
- ・地域の農家やスーパーの取り組みの意味について発信する

第2次(20時間)
地域の食品ロスについて調べよう

第3次(10時間)
地域の方たちに何をどう、伝えたいのか案を出し合い、検討しよう

第4次
(家庭や地域に向けて発信しよう)

第1次(10時間)
身近な食品ロスについて問題に気づこう

理科
たねまき

社会
はたらく人のしごと

国語
メモの工夫・伝えたいことをはっきりさせて書こう・お礼の手紙
道徳
インタビューのマナー

算数
表と棒グラフ

栄養士・給食調理員
給食には様々な工夫や努力が込められている

地域の農家・スーパー
農作業体験、店の見学

スーパー
売り場へのポップなどの掲示

保護者や青対小・農家など地域の方を招き、「もったいないを広げよう」の会、開催

6月

7月

8月

9月

10月

11月

・夢の給食メニュー
・給食
夫や
いる。
残しで食品ロスに関
わっている
・身の回りにどんな食品
ロスがあるか予想し、実
際に調べたい
・実際に調査しまとめる

・地域の農家やスー
どのような工夫や対
策をしているのか、見
学を通して調べる
・家庭での食品ロスに
ついて調べまとめる
・自分たちにできそう
なことを考える

・段ボールコンポストの
について
作って
使ってみる
・地域の農家やスー
パーの取り組みの意
味について話し合う

・段ボールコンポストで
作ったたい肥の活用
・地域の農家やスー
パーの取り組みの意
味について発信する

主体的・対話的な学習活動があつて

身近な食品ロスについて
問題に気づこう

地域の食品ロスに
ついて調べよう

(時間)
ちに何を
どつ、伝えたいの
か案を出し合い、
検討しよう

第4次
(家庭や地
域に向けて
発信しよう)

探究的・問題解決的な学習過程があつて

理科

社会

国語

算数

表と棒グラフ

道徳

インタビューのマナー

栄養士・給食調理員

地域の農家・スーパー

スーパー
売り場へのポップな

保護者や青対小・
農家など地域の
方を招き、「もっ
たいないを広げ
」の会、開催

教科・領域での学びの活用があつて

保護者・地域・企業や関係機関や世界と連携した学び

4, カリキュラム・マネジメントの具体例

小平第五小学校

探究マップ

特別支援学級

生活単元学習



小平市立小平第五小学校

さくら学級「シロクマさんを救え」(全20時間)

探究課題: 地球温暖化の影響とわたしたちにできること

小単元①(7時間)

「シロクマの生活と地球温暖化」

- シロクマ先生と出会う。
- シロクマたちの現状や生態を知り、動物愛護の気持ちを高める。
- 極地研究所へ社会科見学に行く。
- 地球温暖化について知る。
- 学んだことをシロクマ先生に報告する。

- ・昔に比べて、地球が温まっているんだ。
- ・地球温暖化で、シロクマたちはつらい思いをされていてかわいそう。
- ・地球温暖化が進むと、自分たちの生活も大変になってしまう。
- ・温暖化を止めるには、どうしたらよいんだろう。

小単元②(8時間)

「シロクマを救うために、自分たちにできること」

- 生活の中で「もったいない」と感じる場面を振り返り、自分たちの行動を改めることで地球温暖化対策になることを知る。
- クラスごとにテーマを決め、インタビューや交流学習、社会科見学等を通して自分たちにできることを調べ、実践する。
- グループごとに学んだことをシロクマ先生や保護者に向けて発表する。

- ・人間は加害者でもあり、被害者でもあるんだ。
- ・地球温暖化は、私たちの生活と繋がっているんだ。
- ・もったいないをなくすことが、シロクマさんを救うことにつながるんだ。
- ・実際にやってみると、そんなに大変なことじゃない。

小単元③(5時間)

「家でもできることにチャレンジしよう」

- 家でもできることを決め、家庭や学校で実践し、シロクマ先生に報告する。
- 単元を通して学んだことを全校に同知する。

- ・自分たちの行動で、シロクマさんも人間もハッピーになれるんだ。これからも続けていきたい。
- ・誰かを犠牲にした豊かさはもうやめよう。
- ・「もったいない」と思う行動はしないようにしよう。
- ・学んだことを全校のみんなにも知らせ、シロクマも人間もみんなが幸せに生活できるように協力していきたい。

地球温暖化問題、ホッキョクグマの絶滅危機

極地研究所

エコプラザ スリーハーモニー

リサイクルセンター

国語

「インタビューをしよう」
「シロクマの物語」

算数科

「表とグラフ」

理科

「電気の性質とその利用」
「顕微鏡の使い方」

社会

「ごみのゆくえ」

国語

「わかりやすく伝えよう」

特別の教科 道徳

「未定」(生命尊重)

4, カリキュラム・マネジメントの具体例

生活科



小平市立小平第五小学校

第2学年「花小金井の町のすてき、たんけんたい」単元構想(全25時間)

生活科の内容 (3) 地域と生活 (8) 生活や出来事の伝え合い

1学期「どきどきわくわく町たんけん
～花小金井の町たんけんたい～」

- みんなでつかう町のしせつ
「図書館に行こう」
「えきに行って電車に乗って出かけよう」
- 農家さんのさぎょうをやってみよう

町のことも
とくわしく知
りたいな!

小単元① 4時間 「町たんけんの計画を立てよう」

- ・このお店に行ってこんなことを聞きたいな。
中の様子を見せてもらいたいな。
- ・探検に行くときは安全に気を付けて行こう。
- ・あいさつする練習をしよう。

- 〈表現〉
○町探検に向けての計画を立てる。

町の人と
たくさんお
話しよう!

◎2年生のつながりたいSEKAI(学習対象)
⑦地域で生活したり働いたりしている人 ⑧身近にある物

小単元② 8時間 「町の人となかよくなろう!」

- ・たくさんお話できて色々分かったよ!
- ・もっと町の人と仲良くなりたいな。

- 〈体験〉
○町で働く人に挨拶に行き、見学させてもらったり、インタビューさせてもらう。
- 〈表現〉
○もっと聞いてみたいことを話し合う。

- ・もっと仲良くなるにはどうしたらいいかな。
- ・何か自分たちにもできることをやらせてもらいたいな。

- 〈体験〉
○町の人と一緒に何かをしたり、作業の一部を体験したりして繰り返し交流する。
- 〈表現〉
○体験させていただいたことを振り返る。

小単元③ 11時間 「町のすてきを知らせよう」

- ・お店の人とこんなことをしてみたよ!
- ・お店の人の思いが分かったよ。
- ・やってみたら大変だったけど、楽しかったよ!
- ・町の人と仲良くなれて、嬉しいな。
- ・地域の人たちにも町のすてきを知ってもらいたいな。
- ・花小金井の町のために、みんながんばっているんだね。

- 〈体験〉
○町探検で関わった人や場所についてまとめる。
- 〈表現〉
○町のすてきを発表し合う。

他のグループ
の人達にはど
うだったか知
りたいな。自
分たちも伝え
たいな!

町の人のお店
の人や地域の
家の人に伝え
たいな!

小単元④ 2時間 「町たんけんをふりかえろう」

- ・花小金井の町のためにがんばっていることが分かったよ。
- ・自分もこの町の一人として楽しく過ごしたいな!

- 〈表現〉
○発表会を振り返る。
○町探検を通して、自分自身の成長と向き合う。

花小金井の町
の人たちは、
みんな優しく
てやっぱりす
てきな町だね!

国語科
「あったらいいな
こんなもの」

国語科
「メモをとるとき」

特別の教科 道徳
「さいろいろペン
チ(規則の尊重)」

特別の教科 道徳
「あいさつしてい
いな(礼儀)」

国語科
「こんなもの見つけたよ」
「みの回りのものを眺めよう」

国語科
「すてきなどころを
つたえよう」

特別の教科 道徳
「いま、ぼくにできる
こと(責任)」

4, カリキュラム・マネジメントの具体例

総合的な学習の時間

小平市立小平第五小学校

第5学年「RESPECT KODAIRA ～小平から始めよう、世界へのRESPECT～」(全70時間)

探究課題: 世界で起きている様々な問題とそれらを解決するための持続可能な取組

小単元①(20時間)

『世界の課題』と小平市のつながり

- 「地球温暖化」はじめとする様々な「世界の課題」について知る。
- 市役所、農家、カモミール(移動式子ども食堂)の取組や思いについて知る。



- ・たくさんの人々の努力や工夫によって生活が支えられていることが改めて分かった。
- ・世界の課題を解決するために、地域に向けて何かできることを考えていきたい。

地球温暖化問題、国内の猛暑日増加
野菜の高温障害、ホッキョクグマの絶滅危機

市役所(環境政策課)、農家(川里農園)

NPO法人「カモミール」
(移動式子ども食堂・フードパントリー)

社会科
「日本の国土とわたしたちの暮らし」
「米づくりのさかんな地域」

小単元②(30時間)

『世界の課題』と自分自身のつながり
～自分たちができることを考えよう～

- 様々なSEKAI(人、もの、こと)とかかわって、「世界の課題」や「SDGs」についての理解を深める。
- 「世界の課題」を解決するために、自分たちや地域ができることを考える。



- ・世界中には様々な問題があって、解決に向けてたくさんの人々や組織が行動していることが分かった。
- ・自分たちの行動によって未来はよりよい方向へと変わるかもしれない。
- ・考えているだけではなく、実際に動き出そう!!

SDGs 17の目標、環境問題を中心とする様々な世界の課題

農園体験、地域のSDGs研究会
魚屋(水産業と地球温暖化の関係)

国立極地研究所 1.5℃の約束(国連広報センター)

社会科「水産業のさかんな地域」「これからの食料生産」

特別の教科 道徳「イルカの海を守ろう」「流行おくれ」

小単元③(20時間)

RESPECT KODAIRAプロジェクト

～小平市、そして世界とのつながりを感じながら動き出そう～

- 自分たちで考えた活動を企画書にまとめる。
- 「RESPECT KODAIRAプロジェクト」を実行する。



- ・たくさんの人々を笑顔にすることができてうれしい。
- ・これからも自分たちを支えてくれる人のために行動していきたい。
- ・地球温暖化などの様々な世界の課題にも目を向けて行動していきたい。

高店街、老人ホーム、幼稚園・保育園
花小金井図書館、農家、ブルーベリー農園
市役所、地域猫活動
くるめら(地域コミュニティラジオ局)

NPO法人「カモミール」
(移動式子ども食堂・フードパントリー)

セブンイレブン(たまえどり、フードドライブ など)

社会科「環境をともに守る」

特別の教科 道徳「わたしのボランティア体験」

④主体的・対話的で深い学びの実現

私たちは、古い教育観の中で育ってきました。

- ・ 答え合わせをして、
◎をもらおうと安心できた。

知識・理解

正解がある 基礎・基本

- ・ 100点を取ることや上位の成績を得ることを目指して勉強した。

到達度評価

点数や順位で評価されていた

主体的

自分たちで問題を発見し、その問題の解決のために学ぶ。

対話的

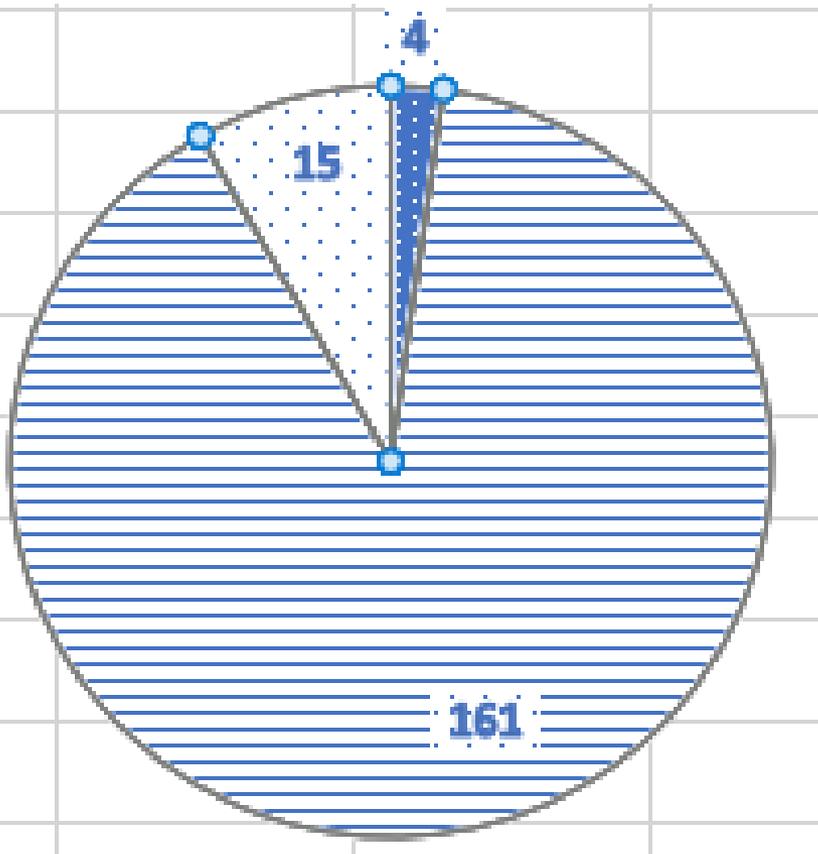
誰にも答えのわからない問題について、調べ、考え、話し合っ、みんなが納得するような答えを探す。

横断的

色々な教科等で学んだことを活かして、問題を解く。

深い

学んだことを元に、自分たちの行動を変容する。



「主体的な学習体験の有無」

ある大学の教育学部 3年生
180名へのアンケート調査結果
2022年8月9日 手島利夫

- 4人・・・ ○ 主体的な学習をしたことがある
- 161人・・・ × そのような学習経験はない
- 15人・・・ △ 無回答

※ 先生方は主体的な学びになるよう、工夫を重ねていたのに・・・

「よく『子どもの思いや願いに応じて』という言葉を目にするが、それは指導上の建前で、実際には教員のやりたいことを押し付けられているなと感じてきた。私が小学生の時に受けたエコに関する授業も先生から与えられた課題をこなすことが目的になっていて、エコに対する考えが大して深まっていたわけではなかった。」

宇都宮大学・群馬大学共同教育学部 集中講義
「ESD教育法」授業後アンケートより

2022年8月9日

学 学びの動機 ける

外発的な動機

- ・良い評価を得たい
- ・教師への忖度
- ・親に褒められたい
- ・受験に備えたい

内発的な動機

- ・エ～ツ！、うそだろ？
(驚き・感心)
- ・どうしてですか
(疑問)
- ・おもしろそうだなあ
やってみいたいなあ
(興味・関心・意欲)

主体的・対話的な 学習過程

調べさせられた学習。

【つかむ】



【調べる】



【まとめる・実行する】



【伝え合う】

『こどもの学びに火をつける』際の3つのステップ

<問題に気づかせる>

- 1) 体験活動や提示資料をもとに基本的な事実と出会う
- 2) 体験したり資料を見たりしたことから、多様な気づきや感想などをもち、それを共有する。

<火をつける>

- 3) 教師が提示したり、子どもが調べたりして出合った矛盾する事実や意表をつく話や資料等から疑問を感じ、書き出す **エ〜ッ!**
自分ごとに感じさせる

<テーマを決める>

- 4) グループや学級全体で疑問を出し合い、分類・整理してまとめ、学習問題をつくる
- 5) 問題について、自分なりの予想をする

親しみ・憧れ・共感
不安・危機感

それらをひっくり返す

疑問から学習問題へ

⑤授業の「改善」ではなく「改革」を進める

大仙市立大曲南中学校の研究発表をごらんいただき、「まだ不十分だな」と感じていただけた所があったとしたら、先生方の中に「改革の方向性が見えてきた」ということだと思えます。ご一緒に学びの改革を進めましょう。大事なことは、大曲南中学校がどんな実践をして、どんな子どもさんを育てているかだけではありません。皆さんの市の学校で、教室で「持続可能な社会の創り手」の育成が進み、より良い未来が実現し続ける事です。

「授業改善」では届きません。「学びの改革」を進めましょう。